

上小山田町内会説明会 会議要旨

開催日時：2013年6月29日(土) 18時00分～20時15分

開催場所：上小山田コミュニティーセンター

参加者：53名

《次第》

1. 新たな「ごみの資源化施設」について
2. 建設予定地の選定について
 - * 「町田リサイクル文化センター」(下小山田町3160番地) 検討概要の説明
 - * 「上小山田西部エリア」 検討概要の説明
3. 質疑応答

〈配布資料〉

資料1：新たな「ごみの資源化施設」の建設地周辺にお住まいの皆さんと話し合いを進めます。

資料2：ごみ資源化施設建設NEWS (vol.4～7)

質疑応答

(市民)

この地域は里山としての環境が残っている。特に、旧上妻病院付近は水が出る。大きな開発や土壌改良、地盤改良などをすると地下水が枯れて蛍が死滅する可能性がある。施設ができ上がった状態の環境が人体に影響ないとか、自然にやさしいというより、建設段階で環境が保たれるように計画してほしい。

家族が喘息のため上小山田に越してきた。施設による影響がないのかはっきりしてほしい。また、具体的な建設場所をはっきりしてほしい。

(町田市)

場所が明確になる前にエリア内の環境を調査します。また、処理は全て建物内で行い、外に影響がないよう脱臭設備、排水設備を整えます。類似施設は、周辺の多摩市、八王子市、相模原市で見ることが可能です。RC造で箱型の構造で環境に影響がない状態で操業しています。大気、臭気、排水等厳しい基準があり、クリアしないと操業できません。クリアしながら操業し定期的に報告をします。広報やHPで公表します。さらに地区代表の方々に現場を見てもおうと考えています。

建設場所が具体的に明確になった段階で説明会を開催します。

(市民)

建物の図面などは一切できていないのか。

(町田市)

これから基本設計をしていく段階です。

(市民)

今の説明や質問を聞いていると、そこにできる前提で話をしている気がする。過去にリサイクル内に新しい施設を造ろうとした時に多摩市の住民の反対運動で頓挫した経過があると思う。南多摩斎場は半分が八王子で、そのすぐ隣接地であり、同じことが起こりうる可能性があるのではないか。

こういう施設ができると不動産評価に影響ある。要するに安くなる。それへの対応は何もない。

また、こういう施設は、土壌汚染を起こす対象施設と言われている。土壌汚染というのは、一時的に測定した際に基準内であっても蓄積されていくものである。

どうして小山田地区にこういう施設が集中しているのか。なぜこの地域でやらなければならないのか。

(町田市)

小山ヶ丘の廃プラ施設の件については、完全に町田市のミスです。順番が違っていました。こういうように中身を説明し、それからこの場所にという話をして、その後、建設という話をすべきだったものです。今回、まずは町田市内の皆さんに説明させていただきたいという手順を踏んでいます。

土壌汚染の蓄積の件について、出る前に、出さない方策を検討します。施設ができた後の影響のシミュレーションをします。稼働後も分析します。そこに蓄積された傾向があれば改善していきます。改善できなければ操業できません。

検討委員会は、一般公募、町内会・自治会代表、学識経験者等で構成し、施設を建設する場所としてどこがふさわしいかについて、およそ2年間検討してきました。候補地として200ヶ所以上の場所から、11,700 m²の土地を確保でき、道路、環境負荷等、色々な観点から客観的に選んできました。「結論ありき」でやってきたのではないことは理解願いたい。

一般的には不快施設ができると評価が下がることは理解ですが、極力影響を抑えることによってマイナス評価は抑えられるのではないか。道路整備の計画もあり、まちづくりを総合的に考えることで計画を進めていきたい。

(市民)

西部エリアは、JRのリニア新幹線、小田急線の唐木田から相模原への乗り入れが計画されている。近くには鶴見川の源流があり、水の汚染の問題もある。まちづくりの話をしたが、こういう施設を造って、まちづくりというのは理解できない。

市民は公平に負担すべきなのに、鶴川にはこのような施設はない。危険なものでないのであれば旧市役所跡地に造ってもらいたい。

今のリサイクル文化センターの煤煙が家のベランダに飛んできた。近くでは、ダイオキシンで畑ができないと聞いている。ずっとここでやってきていて、また小山田に造るのか。一方的に決められて納得するわけにはいかない。

(町田市)

中町の旧庁舎については、更地にし、芝生広場にしてイベント活用する予定です。商業地

域の用途で、工場は建てられないということではずしています。鶴川地区について、候補地としていくつか上がっていたが、選定の過程で落ちています。成瀬、鶴川については下水処理場があり、そういう意味では何もないわけではありません。

あくまでも客観的な条件、また、地域の活性化、まちづくりの観点で検討してきました。市が一方的に決めているわけではなく、検討委員会には各エリアからいろんな人に出ていただいて選定していることを理解願いたい。

小田急線について、まだ具体的計画は見えていません。進んだ段階で説明する場をつくっていききたい。

リサイクルからの煤煙に関して、煙突からの排ガスについては24時間連続して測定しています。煤煙が出たら炉が停止する仕組みになっています。

ダイオキシンは、周辺環境は年4回、炉排ガスは各炉年2回ずつ測っています。影響はゼロではないが、土壌について測定をしており、基準はクリアしています。そうでなければ操業ができません。

(市民)

ピンクの点線付近に住んでいる。湧き水が出ており蛍が出ている。背中に八王子のバイオ施設がありすごく臭い、北には多摩の焼却施設、西を見れば下小山田の焼却施設があり、また家の近くにプラスチックの処理施設ができることになるとずいぶん小山田にはそういったものが集まってしまったと思う。

計画で選定したということはわかるが、実際に造るかどうかは別だと考えている。

プラの施設は、有害な物質が出る。杉並病は、原因がまだわかっていない。チラシだと簡単に有害物質は出ない、安全だとあるが、杉並や寝屋川の例があるのに、市は楽観視していると思う。子どももおり、有害物質が出てこないか心配である。

チラシにはバイオも臭いが出ないと言っているが、八王子の施設は、近くに住んでいると実際にすごい臭いである。有害物質などの問題で、安全なのか。原因がわかっていないものをどう処理するのか聞きたい。

(町田市)

八王子バイオマスエコセンターは民間の施設で、ただの倉庫のような建物内に生ごみを入れ、発酵させて乾燥し堆肥にしています。臭気対策について、改善・改良しなければ操業ができないと思います。町田市が計画しているものは、倉庫ではなく、鉄の茶筒の中で処理するようなもので、生ごみから空気を必要としない微生物がガスを発生させます。臭いのある場所がなく、臭いは閉じ込められたままで、残さは空気に触れないで焼却炉に入ります。同じバイオマスという言い方をしているが基本的に全く構造が違います。

プラスチックの有害物質の話について、どんなガスが出るのか民間のプラスチック圧縮施設を借りて2010年6月に実証実験を行っています。市内6箇所でも協力いただき、家庭から出るプラスチックを袋に入れ回収し、市民の目の前で圧縮する実験を行いました。圧縮し、四角いベールにしました。実験の結果については、ベンゼン、トルエン、スチレンなどの物質が出ました。どれくらい出ているのか数字の結果も公表しました。その中で基準を超えたクロロホルムについて、その原因は、漂白剤のボトルの中に残っていたものが圧縮した際に

反応して発生したというところまでわかりました。基準を超えたものもありましたが、基準を超えないものがほとんどです。出てきたガスをどうしたらよいかを考えて基本設計に反映させていきたい。活性炭、光脱臭等色々あるが、最新の設備でもっと数字をおさえようと考えています。そのしくみが明確になった段階でもう一度説明会を開催させていただきます。

杉並、寝屋川の原因について、全容が解明されたわけではないものの、杉並については、施設からの排水の影響とも言われており、また、寝屋川については、プラスチック由来だけではなく、他の物質と化合して出ている可能性が指摘されています。そういうことが実際に起きるということを考えて、新しい施設の安全性を高めていきたい。

(市民)

ガスが出るのはわかったが、もっといっぱい出ている。未知のものが影響しているのではないかというのが怖い。大阪市民が8年も裁判で争っても、造ったものは仕方がないということで勝てない。分からないものは処理しようがないということがあり、施設ができてしまうとすごく心配である。

(町田市)

プラスチックの圧縮・成型の途中で、他のものを加えたり、混ぜたりしなければ、未知のものは出ないと考えています。市では、その範囲内で作業を行います。

(市民)

他のものとは何か。

(町田市)

プラスチック容器などの中に中身が入っていて、それが金属類や、異物だったりした場合に他のものになる可能性があるということです。

(市民)

小さいライターなども選別しなければならないと思う。市販されている農薬の袋なども水洗いしてから圧縮しないとすごくまずいのではないかと思う。

(町田市)

圧縮の前段で手選別します。その段階で人が目視をして取り除くことになります。仕組として確認行為があります。

(市民)

そういうのは絶対リスクがある。40%削減ということは無視して、小山田の住民の健康上のリスクを考えるなら、新しい焼却施設へ持って行って燃やしたほうが影響が少ないのではないか。

(町田市)

燃やした場合、数万m³の排ガスとして出さなければなりません。そちらのほうが、何十倍、何百倍もリスクがあると思います。安全な状態で資源化します。安全ではない状態のものを人間の手で取り除きます。そのほうが小山田全体の人のリスクとしては少ないと考えています。

(市民)

健康被害が発生したときはどうするのか。

(町田市)

基本的に操業しません。原因が明確になり、改善しなければ操業できません。

(市民)

大阪などの例では原因、可能性を認めない。ほんとに大丈夫かと思う。

(市民)

道路について、通学路になっており、バスも通る。施設ができるとなると搬出入でトラックが頻繁に通るのではないかと心配している。小山田のバスの折り返し所から平、池の平、種入の付近は歩道がないところもあり危険である。地域にはお年寄りもたくさん住んでおり、バスが通り、トラックが通り、多摩市や八王子市などの通過交通もある。スピードも出される。小山田のハナミズキの丘から合流されるところも危ない。歩行者の安全確保についてはどう考えるのか。

(町田市)

安全性を最優先としてルート検討も含めて検討を進めていきます。

施設を上小山田西部に造ったときに、子どもの通学時間に多くの車が走ることがあってはなりません。道幅が今のままでよいのか、実際にどこを通過して入ってくるのかの系統も含めこれから検討していきます。生活している人のパターンがあり、その動線上に収集車が増えてくることになれば影響があるので、どういう仕組みで収集するのか検討していきます。影響を小さくすることがポイントと考えています。

(市民)

スケジュールをみると、基本設計が今年度ということは、大体の位置も決まってきたのではないかと。アセスのほうの事前の説明会は別に行われるのか。

建設地について、検討委員会では客観的に選定をしてきたというが、その内容は開示されているのか。

道路整備に関して、今、尾根緑道の整備計画があるが、この計画の一環か。

(町田市)

現段階では、オレンジ色のエリアの中でリニア新幹線のルートや道路整備が現段階ではまだ白紙の状況であるため、画として書ける状況になった段階で説明会を開催したい。それをベースに基本設計に入ります。アセスは2年から2年半かけてやっていきたい。

検討委員会の検討の経緯や結果についてはオープンにしています。ホームページや市政情報課に冊子があります。道路については、新たな道を造りたいと考えています。

(市民)

リレーセンターみなみはプラスチックを5 t処理すると決まったようだが、カンやビンは処理しないのか。上小山田だけか。相原は民有地なので大きいものを造れないのではないかと。ほとんどの処理を上小山田でやることになるのではないかと。

(町田市)

ごみの中継基地であるリレーセンターみなみは2,000 m²ぐらいしかないので、プラスチックの圧縮梱包施設ぐらいしかできません。相原地区については民有地ですが、複数の地主さんの所有地にかかる区域を考えており、上小山田と同じ規模で考えています。何か一方の施設

でトラブル等があったときに、代替性を持たせる意味もあります。

(市民)

ごみの分別回収について、ペットボトルなど、民間委託すればよいのではないかと。わざわざ税金を使って造らないで、委託すればこの地区に造らなくても良いのではないかと。家電などについて、希少金属を民間が買い取っている。なぜそういうものを利用しないのか。

(町田市)

ペットボトルに関して、町田市では集めた半数を独自ルート（国内）、半数は容器包装リサイクル法のルートとしています。売ったほうが少しは高いが、安定処理の見込みの保証がありません。その危険性を避けるため半分半分でやっている状況です。

小型家電について、4月から小型家電リサイクル法が施行され、ようやくルート化されてきました。今までは不燃ごみとして破碎をし、金属類を回収し、プラスチックについては燃やしていました。そうしたものをルートに乗せ、希少金属を回収し、国内で利用しましょうという方向性が出たのでそうしていきます。

民間委託の件に関して、費用対効果は考えていきます。焼却施設の運営や収集の民間委託も検討しています。設計に織り込んでいきたい。

(市民)

今の話だが、残りの50%でなく、そのうちさらに何割かは民間委託することで、小さくできる。

鶴川処理場跡地などは検討されていないのか。面積はそこそこあり、場所的にもそれなりの場所である。

(町田市)

土地は町田市のものではないため、はじめから候補地として挙がってくることはありませんでした。217箇所から1万㎡確保可能なところを操業しているところを含めて検討してきました。

民間委託の件は進めていくべきだと思います。民間委託を進めれば施設の規模が小さくなるだろうということです、逆に委託を継続できなくなった場合に危険があります。2020年度に向けて、市として資源化する必要がある最低の量を処理する規模を確保する必要があります。

(市民)

ごみ処理施設候補地選定の地図を見ると、芝溝街道から北に偏っている。200何箇所か候補があったと言っていたが、現在のごみ処理場、多摩の清掃工場、火葬場もあるので最初からはずしておくべきだったのではないかと。市の土地もあり、他の地域より人口も少ないから、説得しようと考えたのではないかと。道路について、北部丘陵が関係して図面も作っている。リニアが来る等の理由をつけてもうちょっと止めとこうという話になっているらしい。

(町田市)

忠生579号線については、上小山田町のまちづくり協議会と話をしながら検討してきた経過があります。地権者の方の中で賛同をいただけない部分があって止まっています。

(市民)

地権者の同意があれば造るのか。

(町田市)

J R リニア、資源化施設の位置等が示された時点で考えていきます。

(市民)

上小山田町内会で反対の署名を出したと思うが、どういう処理したのか。

(町田市)

いただいた内容は市として理解しており、担当部署で管理しています。市として重く受け止めています。

(市民)

一人ひとり反対者に説明して回るのか。あなた方はそういうところに進んで住もうと思うか、桜が咲いて蛍も飛んで、そういうものが保護されて安全だからということで、住もうという気になるのか。

(町田市)

周辺への影響を極力減らしたいと考えており、迷惑をかけないように進めて行きたい。

(市民)

国際標準規格の I S O 1 4 0 0 0、9 0 0 0 等があるが、適用するのか。

(町田市)

認定を受けるかどうかの方向性はまだ出していません。これから検討する予定です。

(市民)

検討委員会で 2 1 7 箇所の候補地のうち、上小山田、下小山田は何点候補に挙がっていたのか。二番目に良かったところにならなかった理由は何か。

(町田市)

2 1 7 箇所について、5,000 m²以上の市有地リストの中から選びました。5,000 m²では施設を造るのに小さいということで7,500 m²以上確保できるところ173箇所に絞りました。その中から対象として災害上の危険箇所、文化財保護の観点などから除外し、法律的にクリアできるところ17箇所に絞っています。選定のプロセス等については、ホームページに掲載してあるので、ご覧いただきたい。

(市民)

説明会はやるのか。画が描ける段階といていたが。

(町田市)

決まりましたということではなく、こういう風にしたいという状況で説明したい。秋ごろになると思います。

(市民)

上小山田西部エリアは、今のところ、候補地であり、まだ決定ではないのだということによいか。

(町田市)

場所としては上小山田西部エリアに造りたいということです。

(市民)

小山田は、ごみを出す量が少ないため、始めから建設地からはずすべきだ。いっぱいごみを出す地域に造ればぜんぜん問題ないのではないか。

(町田市)

いちばん多いのは市街地ではなく、団地エリアではないかと思います。生ゴミ処理機の普及等により40%削減に向けた減量策はやっていきます。しかし、施設の建設場所については、本日説明した4箇所を考えています。

(市民)

人口は減っていくので小さくし、別のところに造るべき。納得できない。造るのであれば施設周辺地域の住民の税金を無料にすべきだ。

(町田市)

小さい施設を造る。意見があるのは承知しています。

(市民)

説明会の時間は気にしないでやってほしい。2時間でも3時間でもやらないと不満がたまる。

(町田市)

画が描けるような段階で、決定前に時間に関係なく説明会を開催します。

(市民)

市役所の跡地の面積はどれくらいか。

(町田市)

1万㎡ぐらいで、用途は近隣商業地域です。

(市民)

用途変更すればよい。市ができるはずだ。

(市民)

今日の説明で、上小山田は、この場所に施設を造ることを承認したという解釈か。

(町田市)

承認したというふうには解釈していません。今の状況の説明をしたということです。

(市民)

白紙撤回もありうるということか。

(町田市)

そうではなくて、場所について言えば、エリアは以前にも説明した場所です。

(市民)

場所については上小山田に造るということで、そのことは決定事項で、そのことを今日説明しにきたということか。

(町田市)

場所についてはそのとおりです。ただそこにどういういろんなものが加わってくるかという説明については現在の段階ではできないということです。上小山田の西部エリアに建てたいと考えているということだけは話させていただきました。

(市民)

この場所に考えているということと、決定したということとは違ってくると思うがどうなのか。

(町田市)

上小山田の西部エリアに施設を建設することについては決定です。ただ、エリアの中のどこにどう造っていくかといった細かいことはこれから改めて説明したい。

(市民)

それでは、上小山田西部エリアにできるということを報告に来たのか。このエリアに造ることに決定したので、皆さん納得してくださいということになる。

(町田市)

ここに作るという話は前にもさせていただいています。上小山田西部エリアに造るということは2月の時点で決定して、公表し、議会にも説明をしました。

(市民)

話をするのと決定とは違う。どこで決定したのか。

(町田市)

2月4日に市の経営会議で組織として決定しました。その後、議会へ説明し、2月6日に記者会見を行っています。

(市民)

説明した段階で、住民への説明などについて議会では意見は出ていないのか。議会に説明する前に住民に説明に来るべきではないのか。

(町田市)

説明については、上小山田地区については、町内会の役員の方に話をし、その後皆さんに集まっていただき方向性については話をさせていただいています。決定という言葉についてですが、2月の時点でこのエリアに建設するということについて、市としての方向性を出しているということを決定だというのであればそれは決定です。ただし、中身の道路付け等は決定していません。

(市民)

議員はなんと言っているのか。

(町田市)

議員の発言については私どものほうでお答えできません。

(市民)

施設の場所について、検討の余地はあるのか。

(町田市)

エリアの中で市として方向性を出しています。

(市民)

芝溝街道から上に偏っている。小山田の人がおとなしいからか。

まず、小山田エリアはずすべきだったのではないか。それから面積を小さくしても他のところに分散しようというのが筋だったのではないか。住民の気持ちを考えればそれがいちばん良かったと思う。多摩の清掃工場や火葬場もある。

(市民)

検討委員会のポイントの重み付けも間違っている。上小山田に不利なポイントだけだ。

(町田市)

ウエイト重み付け、他の場所に比べ重く位置づけています。感情を抜きにして数字上で出すところになりました。検討委員会には市民の方も入って進めてきました。

(市民)

検討委員会のメンバーには、小山田の方もいたのか。

(町田市)

入っていました。

本日は、エリアの中に建設することを伝えたかった。コンクリートされる前に再度説明します。

検討委員会については、ホームページを参照願いたい。また市政情報課には冊子も置いてあります。